

政策分野から見た都市像に生かす視点

【子ども・子育て】分野

○妊娠期から出産・子育てまで ○負担や不安を和らげる ○学童保育所の待機児解消
 ○保育施設の適正配置 ○子育て・健康複合施設 ○仕事と子育ての両立 ○育成とコミュニティの結びつけ
 ○楽しく安全に遊べる場所 ○まちと共に育つ ○共に暮らす・共に助け合う
 ○安全安心に遊べる ○誰もが幸せに育ち ○子どもが第一（オトナも大事）
 ○大人も育つ ○子育てがしやすい ○大人も子供も笑顔がいっぱい ○家族が住みやすい
 ○たのしく、いきいきと暮らせる

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・ <u>妊娠期から出産・子育てまで</u>、子育て家庭の<u>負担や不安を和らげる</u>施策 ・ <u>学童保育所の待機児解消</u> ・ <u>保育施設の適正配置</u> ・ <u>子育て・健康複合施設</u>の効率的・効果的な事業実施

<審議会発言内容>

- ②…第2回審議会での発言
 ③…第3回審議会での発言

政策に関する意見
③子育てと青少年は、同列に捉えて考えていく必要がある。＜福永委員＞ ③ <u>仕事と子育ての両立</u> も見直していく必要がある。＜川口委員＞

施策に関する意見
②小、中、高校生の育成を遊び場やコミュニティと結びつける考えがなかったのが残念。＜福永委員＞ ③子どもの育成から青少年というのは、小・中・高と幅が広い。ターゲットをどこに絞るのか、漠然とした内容が多い印象。＜福永委員＞ ③「機会をつくる」という内容があったが、物なのか、人なのかというところまでは具体的に考えられていなかった。＜福永委員＞

事務事業に関する意見
③子どもがボール遊びなど、安心して遊べる場所がほしいという意見が多かった。子どもたちが <u>楽しく安全に遊べる場所</u> を大人が確保していければよいと思う。＜辻本委員＞

<市民WS など>

市民 WS	B 班 <u>まちと共に育つ</u> C 班 <u>共に暮らす</u> まち・ <u>共に助け合う</u> まち D 班 子どもが緑の中で <u>安全安心に遊べる</u> 町
-------	---

	E 班 <u>誰もが幸せに育ち</u> 学べる可能性が無限大なわくわくするまち立川 F 班 <u>子どもが第一</u> のまち！！（ <u>オトナも大事</u> ！）
次世代 WS	<u>大人も育つ</u> 立川
高校生 WS	・治安にメリハリがある。<u>子育てがしやすい</u> ・近くに利用しやすい公共施設（to 子育て世代、高中小学生、高齢 etc） ・多くの公園、充実した図書館。安価な居場所が駅の近くにほしい。 ・こども 110 番がたくさんいる
中学生アンケート	・<u>大人も子供も笑顔がいっぱい</u>の街 立川 ・<u>家族が住みやすい</u>都市 立川市 ・<u>たのしく、子供がいきいきと暮らせる</u>都市 立川

【教育】分野

○ICT 機器等の効果的な活用 ○不登校支援に対する配慮 ○地域を支える市民性を高める ○学校・家庭・地域の連携による教育力の向上 ○ボランティアによる学習支援
○安心して勉強ができる場所 ○やりたいことが自然と見つかる ○共に育つ ○だれもが生きいきと ○誰もが幸せに育ち学べる ○子どもが第一（オトナも大事） ○格差のない多様な学び ○居場所 ○子供の未来 ○教え合う ○優秀な人材が育つ環境

<第4次長期総合計画総括>

政策・施策の課題
・学校教育での <u>ICT 機器等の効果的な活用</u>

<審議会発言内容>

政策に関する意見
-

施策に関する意見
②これだけ栄えているのに大学がない。<篠原委員> ②ギター初心者に教える場所や機会がない。<平澤委員> ③<u>不登校支援に対する配慮</u>があまり施策に出てきていない。<辻本委員> →「不登校」を学校に行く・行かないで一律で考えるべきではない。小学校に行くことだけが正解ではなく、他の場所で色々な活動をしてほしい。<田所委員> →学校にこだわらなくても、その子が安心できる場所があって、学習できる場所があることが大事。<辻本委員> ③施策8「生涯学習社会の実現」について、立川は大人が学ぶ環境が充実しているが、学んだことが地域に活かしていくという連動性が少し弱いのが課題。学校で行われている立川市民科は市民性を養う教育であるが、大人に対しても立川市民科を推進し、地域に愛着持って、<u>地域を支えるという市民性を高める</u>必要がある。地域での担い手不足の現状を踏まえると、喫緊の課題である。<宮本委員> ③施策7「学校・家庭・地域の連携による教育力の向上」について、市内の小中学校の中にはPTAが廃止になるという現状がある。「<u>学校・家庭・地域の連携による教育力の向上</u>」は大切なことであり、充実を図ることが必要。<萬田委員>

事務事業に関する意見
②不登校支援の観点から、公民館を借りて<u>ボランティアによる学習支援</u>を広げていければよいという話があった。金銭的に塾が難しい家庭向けにも支援できるとよい。<辻本委員> ③寺小屋のようなものをもっと増やしていきたいという意見があったが、公民館を活用して、不登校支援や貧困世帯の学習支援を広げていけないかという話もあった。現在支援を行っている場所に資金を投入し拡充できるとよい。立川市には不登校の児

童・生徒が一定数いるので、それに対する支援というのはよく考えていく必要がある。＜辻本委員＞

③立川市には通信制の学校が多く存在しているので、不登校などで支援を必要としている児童・生徒とつなげられるとよい。＜長井委員＞

③大人が見守り、安心して勉強ができる場所が必要。さらに、悩みを抱える児童・生徒と支援団体をつなげていくような部署を持ってもらえると嬉しい。＜長井委員＞

＜市民 WS など＞

市民 WS	A 班 <u>やりたいことが自然と見つかる</u> 幸せなまち B 班 まちと <u>共に育つ</u> D 班 学びや文化を通じて <u>だれもが生きいきと過ごせる町</u> E 班 <u>誰もが幸せに育ち学べる</u> 可能性が無限大なわくわくするまち立川 F 班 <u>子どもが第一</u> のまち！！（ <u>オトナも大事</u> ！） G 班 <u>格差のない多様な学び</u> と文化を推進するまち！！
次世代 WS	<u>大人も育つ立川</u>
高校生 WS	・近くに利用しやすい公共施設（to 子育て世代、高中小学生、高齢 etc） ・多くの公園、充実した図書館。安価な <u>居場所</u> が駅の近くにほしい。
中学生アンケート	・ <u>子供の未来</u> を大切に ・優しく <u>教え合うこと</u> と、にぎわいのある立川 ・ <u>優秀な人材が育つ環境</u> のある都市 立川

【環境】分野

○カーボンニュートラル ○持続可能の視点 ○SDGs の観点 ○自然エネルギー ○脱炭素 ○再生可能エネルギーのさらなる推進 ○球技や花火ができる公園 ○ボール遊びや手持ち花火ができる公園 ○自然と人が共存する ○緑の中で安全安心に遊べる ○自然豊か ○心が深呼吸できる ○公園が繋がる ○緑豊か ○エネルギーを基盤 ○水がきれい、おいしい ○星が見える ○自然と共存 ○持続可能 ○緑あふれるクリーン

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・ <u>カーボンニュートラル</u> に向けた加速した取組

<審議会発言内容>

政策に関する意見
② <u>持続可能の視点</u> がまったくない。 <u>SDGs の観点</u> が抜けている。G 班でようやく、 <u>自然エネルギー</u> 、 <u>脱炭素</u> という言葉がでてきた。市民ワークショップで意見が出なかったとしても、国の方針もあり必要な政策なので総合計画に入れていかないといけないと思った。<甲野委員>
③ <u>再生可能エネルギーのさらなる推進</u> に取り組んでほしい。<甲野委員>

施策に関する意見
③カーボンニュートラルについて、必ずしも CO2 が地球温暖化の原因とは限らないという話もあるので、車を単純に EV 化するという方向には進まないでほしい。EV 化したあとのバッテリーの処理が問題になっている。また、ある自治体では、中国産の EV 車を単純に導入したが、国内産業を守るという視点が欠けている。そうならないように、慎重に進めてほしい。<平澤委員>

事務事業に関する意見
② <u>球技や花火ができる公園</u> があるととてもよくなると思った。<小林委員>
②子どもの遊び場について、 <u>ボール遊びや手持ち花火ができる公園</u> があるとよいと思った。<辻本委員>
③公園のルールに関して、昭和記念公園はボール遊びができるが、やわらかい指定のボールを開発している。ルールだけではなく、そういった使用する物の視点でも考える必要もある。<長井委員>

<市民 WS など>

市民 WS	A 班 <u>自然と人が共存する</u> まち
	D 班 子どもが <u>緑の中で安全安心に遊べる</u> 町
	E 班 <u>自然豊か</u> で人も都市もしなやかで強く <u>心が深呼吸できる</u> まち
	F 班 緑の遊歩道で <u>公園が繋がる</u> 街

	G 班 <u>緑豊か</u> で災害に強いまち G 班 地産地消で自立する <u>エネルギーを基盤</u> とする街
次世代 WS	市民が創るまぶしいまち
高校生 WS	・ <u>水がきれいで、おいしい</u> ・ みどり豊か ・ 多くの公園、充実した図書館。安価な居場所が駅の近くにほしい。 ・ <u>星が見える</u> ・ 公園でのボール遊び ・ 季節毎に景観を楽しめる ・ 自然が豊かなまち ・ 公園が多い街 ・ キレイな環境 ・ 自然が多い
中学生アンケート	・ <u>自然と共存</u>の発展都市 立川 ・ 自然豊かで優しい街 立川 ・ <u>持続可能</u>、自然豊かな立川 ・ <u>緑あふれるクリーン</u>な立川市

【市民生活（くらし）】分野

○大規模災害の備え ○レジリエンス強化 ○体感治安の向上 ○地域の担い手不足
 ○多文化共生意識の向上 ○多様な性への対応 ○地域のつながり ○コミュニティの向上
 ○災害に強いまち ○自治会の加入率低下 ○コミュニティ ○外国人の子どもの支援
 ○持続可能な地域活動 ○LGBTQ+など、多様な性への理解の高まり ○人権の分野で遅れている
 ○駅周辺の治安 ○災害の啓発 ○国籍に捉われず多様性を受け入れる
 ○笑顔あふれる ○安全安心に遊べる ○相互理解 ○しなやかで強く ○多様性の尊重
 ○つながりつながる ○災害に強い ○地域連携 ○市民が創る ○住民の仲がいい
 ○外国人も暮らしやすい ○夜1人で歩ける ○人が来るけど安全 ○安心して暮らせる
 ○災害に負けない ○住みやすく和気あいあい

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・ <u>大規模災害に備えた防災情報の提供や避難行動支援</u> ・ 公共施設の<u>レジリエンス強化</u> ・ 立川駅周辺の<u>体感治安の向上</u> ・ 自転車関係の交通事故への対応 ・ <u>地域の担い手不足</u> ・ <u>多文化共生意識の向上</u> ・ <u>多様な性への対応</u>

<審議会発言内容>

政策に関する意見
②どの班も、<u>地域のつながり</u>について提案されていたので、自治連の地域活動を理解してもらっていると感じた。<萬田委員> ②地域社会がさらに発展していくためには、<u>コミュニティの向上</u>が必要であり、そういった提案があったことはよかった。<萬田委員> ③市民ワークショップで自分が所属していた E 班では、防災を都市基盤の政策の中で話し合っていた。<森林委員> ③自治連では近年、地震・台風・豪雨災害が日本の各地で多発している状況の中で、災害はいつでもどこでも起こりえるという認識を持って災害に備えることをお願いしている。「<u>災害に強いまち</u>」というのは大切なことであり、非常によい提案だと思う。<萬田委員>

施策に関する意見
②<u>自治会の加入率が低下している</u>ことを自分自身も感じている。コミュニティがないと言いつつ、コミュニティのベースとなる自治会に加入していないのはなぜなのか、そういったところが課題。<芦澤委員> ②一番気になったのが、<u>コミュニティ</u>。継続性や今後に向けた新たなシステムについて考えているところがなかった。<福永委員>

- ②A 班で外国人のお子さんの支援の話があった。＜篠原委員＞
- ③エコミュージアムという考え方があり、それぞれの地域の様々な団体が色々なことをやることをまとめてひとつのミュージアムに見立てる。立川は環境だけではなく、自然、文化、様々な視点を取り入れてやりたいという若者のプランは面白かった。施策 31「市民活動と地域社会の活性化」につながる。＜甲野委員＞
- ③地域で今一番困っているのは、「活動を再開する」とか「活動をどう継続するか」といった生易しいものではなく、コロナで崩壊しつつあることである。活動しなくても地域が成り立つという考え方になってしまっている。持続可能な地域活動を危惧している。＜福永委員＞
- ③女性総合センターという名称は男性が自分事として考えず、男女平等参画が進まない原因になる。「LGBTQ+など、多様な性への理解の高まり」とあるとおり、男女だけでは分けられない時代であるにも関わらず、古いと思う。＜森林委員＞
- ③東京都や近隣市がパートナーシップ制度を導入しているにも関わらず、立川市は導入に取り組んでいない。みんなが集まる先進的なまちづくりを打ち出している割には、人権の分野で遅れている。＜森林委員＞
- ③多文化共生で外国人問題を文化でくくり、男女平等をコミュニティでくくっている。きちんと人権として取り組むべき。＜森林委員＞

事務事業に関する意見

- ②市内の飲食店利用者のクーポン発行という提案があったが、自治連としても絆カードを発行し、130 の商店・企業に協力をしてもらい優待を行っている。一番若い班でそういった提案があったのは、若い世代がこういうことに興味があるということが分かってよかった。＜萬田委員＞
- ②子どもの視点から、駅周辺の治安が悪いことに対して、街灯を増やせば、少し改善するかもしれない、路上喫煙が多いので喫煙所を増やせばよいという意見があった。子育てがしやすい街という観点ではよい意見だと思った。＜辻本委員＞
- ③E 班の「環境・安全」には、「残堀川と昭和用水の合流点に逆流防止水門を設置」という防災の意見がある。＜平澤委員＞
- ③立川市は山や海がないので、地域的な問題で災害への意識が低いのかかもしれない。実際は残堀川の氾濫など災害はあるので、都市部でも災害があることを小学校などで啓発するとよいと思う。＜芦澤委員＞
- ③駅周辺の住宅密集地は道が細くて消防車が入れないので、道幅の確保を地域で考える必要がある。＜片岡委員＞
- ③三師会では、地震が発生し多数の傷病者が出た場合に、立川市内の 5 つの大きな病院の門前に緊急医療救護所を設置するための会議を行っている。そのような救護所の支援が市として必要ではないか。＜片岡委員＞

<市民 WS など>

市民 WS	A 班	年齢・ <u>国籍に捉われず多様性を受け入れるまち</u>
	B 班	<u>笑顔あふれる街</u>

	D 班 子どもが緑の中で <u>安全安心に遊べる町</u> D 班 <u>相互理解</u> でつながる町 E 班 自然豊かで人も都市も <u>しなやかで強く</u> 心が深呼吸できるまち E 班 <u>多様性が尊重され、つながりつながる</u> 持続可能な楽しい立川 G 班 緑豊かで <u>災害に強い</u> まち G 班 <u>地域連携</u> による住みやすいまち
次世代 WS	<u>市民が創る</u> まぶしいまち
高校生 WS	・治安にメリハリがある。子育てがしやすい ・災害に強い ・<u>住民の仲がいい</u> ・ごみなし・タバコなし・清潔感 ・地域住民対象のイベントがある ・キレイな環境 ・<u>外国人も暮らしやすい</u> ・<u>夜1人で歩ける</u> ・<u>人が来るけど安全</u>
中学生アンケート	・<u>安心して暮らせる都市</u> 立川 ・<u>災害に負けない立川</u> ・<u>住みやすく和気あいあい</u>している立川市

【都市基盤】分野

○下水道施設更新 ○都市計画道路 ○歩道が狭い ○ユニバーサル ○道が広い ○誰でも快適

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・ <u>下水道</u>の流域編入後の<u>施設更新</u> ・ <u>都市計画道路</u>の進捗や各地域の拠点間を結ぶ有機的なネットワークの模索

<審議会発言内容>

政策に関する意見
-

施策に関する意見
-

事務事業に関する意見
②砂川七番から武蔵五日市道の <u>歩道が狭い</u> ことがアンケートに載っていた。<平澤委員>

<市民WSなど>

市民WS	-
次世代WS	<u>ユニバーサル</u> シティ・タチカワ
高校生WS	・ 駅周辺以外でも <u>道が広い</u>
中学生アンケート	・ <u>誰でも快適</u> な都市 立川

【産業・都市計画】分野

○事業継承 ○農地の有効活用 ○有機的なネットワーク ○外出困難等の移動 ○北側の農業地域、中間の商業地位、多摩川沿いの地域 ○都市機能から連なる自然 ○創業するなら立川 ○都心に依存しない雇用 ○雇用を産む、創業を産む ○シリコンバレー ○AI の集積 ○交通結節点 ○高齢化により変化する移動ニーズ ○南北の交通渋滞 ○自動運転 ○河川のあるアクティブな暮らし ○市内の交通のあり方 ○交流人口 ○便利に移動 ○食べたいものが食べられる ○また遊びに来たくなる ○やりたい！を応援する ○地域をつなぎ ○コンビニエントファーム ○挑戦 ○イノベーション ○多摩地域連携 ○ハブ都市 ○地産地消で自立する ○多様な文化 ○ユニバーサル ○商店街のにぎわい ○働きやすい ○交通の利便性が高い ○にぎやか ○交流 ○駅のまわりだけでなく立川市全体を住みやすく

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・後継者の不在など、<u>事業承継</u>に課題を抱える事業者が増えている ・都市に残された<u>農地</u>を有効活用し、生産性の向上と経営基盤の強化 ・都市計画道路の進捗や各地域の拠点間を結ぶ<u>有機的なネットワーク</u>の模索 ・高齢化に伴う<u>外出困難等の移動</u>

<審議会発言内容>

政策に関する意見
②<u>北側の農業地域、中間の商業地位、多摩川沿いの地域</u>の3つのエリアの違いを立川の魅力のひとつとして捉えている。エリア間の移動が今後課題になってくる。<芦澤委員> ②<u>都市機能から連なる自然</u>という立川の強みをみなさん考えていた。<川口委員> ②開発に関する提案が多くあったことが面白かった。<甲野委員> ③E班は「<u>創業するなら立川</u>」を掲げている。第4次長期総合計画は、人口のピークを迎えて人口減がはじまることが基盤になっているが、社会増によりピークを後ろ倒しできているのは、立川市に流入してくる層があり、コロナ後、<u>都心に依存しない雇用をここに産む</u>という意味は大きくなっている。人口減は意識するが、ピークを後ろにずらしつつ市を維持するためにも、<u>雇用を産む</u>、<u>創業を産む</u>というのは必要。<川口委員>

施策に関する意見
②立川に来て何かをやりたい人、創業したい人、立川に人を集めるということが語られていたが、具体的に何をもって人を集めるのかを、もう一步踏み込んで考えるとよかった。<川口委員> ②駅前を中心地や昭和記念公園といった特定の場所ではなく、立川全体をアピールしたいということがポイントとしてあることが分かった。<田所委員> ②<u>シリコンバレー</u>の提案について、<u>AI の集積</u>を図るとよいと思った。<篠原委員>

- ②農業地域の活性化として、農業体験をして都市部からの人の流れをつくるという意見があったが、交通網があまりよくないので、整備できたらよいという話があった。
＜辻本委員＞
- ②立川の交通結節点としての特徴が語られていたが、立川市内の交通についても各班で語られていたのに驚いた。高齢化が進展していく中で、移動のニーズも変わってくることが取り上げられていた。＜川口委員＞
- ②交通については、どの班からも意見があった。みなさんが困っていることを知る機会になった。＜小林委員＞
- ②南北の交通渋滞のことが気になった。＜片岡委員＞
- ②地域の交通について、篠原委員が自動運転の話をしていたが、自分の出身地である福岡の永平寺町で自動運転の取り組みを具体的に始めていると聞いた。立川と永平寺町だと交通量や高齢化率は異なるが、例えば、自動運転で自宅と病院をつなぐという取り組みは必要だと感じた。＜松浦副会長＞
- ③C 班の「河川のあるアクティブな暮らし」をはじめ、川を使った提案がいくつか出されていた。河川に暮らしを広げることによって、商業範囲が広がるし、新たな産業も産まれる。そういった場所への交通手段として、モノレールやレンタサイクル、電動キックボードを使って広域に開発をしていくよいと思った。＜長井委員＞
- ③C 班、F 班などでも提案されているが、市内の交通のあり方がテーマになっている。高齢者や交通弱者のための細かいモビリティのニーズに応じていくのか、それとも、観光を目的として街の活性化につなげていくのか、様々な切り口がある。オンデマンドやライドシェアの実証実験を行うにせよ、テーマをどこにするのか考える必要がある。＜川口委員＞

事務事業に関する意見

- ②農業地域で生産したものをフードバンクなどで活用していくとよいという話もあった。＜辻本委員＞
- ②砂川地域の交通不便に、トゥクトゥクを使うというのは面白いアイデアであった。＜平澤委員＞
- ②モノレールの料金を安くするという意見はよいと思った。＜片岡委員＞
- ②モビリティについて、農業地域と都市部をつなぐ交通量の少ない道路は自動運転などのモビリティを使うと面白いと思った。＜篠原委員＞
- ③A 班の都市基盤・産業にある「市内飲食店利用者クーポンの発行」について、自治連では市内の約 130 の店舗で食事や買い物ができる絆カードを発行している。その充実を市に要望しているところであるが、このような活動が地域のつながりを強くするので、大変よい提案だと思う。＜萬田委員＞
- ③B 班の「地域イベントを増やす」「カフェを増やす」について、地域イベントとはフェス（交流型のコンサート）を想定している。提供者と参加者が一緒に楽しむイベントを行うことにより、地域が活性化し、交流人口が産まれるという発想は面白かった。＜甲野委員＞
- ③A 班の提案である「余裕のある自転車レーン」については、私も普段感じていること

である。可能であれば推進してほしい。＜平澤委員＞

<市民 WS など>

市民 WS	A 班 <u>便利に移動でき、食べたいものが食べられるまち</u> B 班 <u>また遊びに来たくなる街</u> C 班 <u>やりたい！を応援するまち</u> C 班 <u>地域をつなぎ、人が行き交うまち</u> D 班 <u>コンビニエントファームシティ</u> E 班 <u>挑戦し、未来のたねをまく、イノベーションがおきる「行きたいこと</u> <u>ころに行けるじゃん」</u> F 班 <u>多摩地域連携のハブ都市</u> G 班 <u>地産地消で自立するエネルギーを基盤とする街</u> G 班 格差のない<u>多様な学びと文化</u>を推進するまち！！
次世代 WS	<u>ユニバーサルシティ・タチカワ</u>
高校生 WS	・ <u>商店街のにぎわい</u> ・ 小型商店も大型商店もある ・ レジャー施設が多い ・ 買い物が便利 ・ <u>働きやすい</u> ・ 遊ぶ場所が多い ・ カフェが多い ・ イベントが多い ・ 夜景スポットがある ・ 映えるスポットがある ・ 商業施設、運動施設が充実している ・ 昭和記念公園の PR をする ・ 季節毎に景観を楽しめる ・ そこにしかないものがある（例：美術館・スタジアム etc） ・ 何でも揃う ・ <u>交通の利便性が高い</u> ・ 公共交通機関が多い ・ 交通の便がいい ・ 電車でも車でも来やすい（駐車場を広くする）
中学生アンケート	・ <u>にぎやかで豊かな生活ができる</u> 立川 ・ 人との<u>交流</u>たくさんの立川市 ・ <u>駅のまわりだけでなく立川市全体が住みやすく、学校で生活しやすい立川市</u> ・ 誰でも快適な都市 立川

【文化・スポーツ】分野

○医療・介護とスポーツの連携 ○多様な文化 ○スポーツ観戦 ○町全体が美術館
○伝統を守る ○文化と暮らしの融合

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・ <u>医療・介護とスポーツの連携</u>

<審議会発言内容>

政策に関する意見
-

施策に関する意見
-

事務事業に関する意見
-

<市民WSなど>

市民WS	G 班 格差のない <u>多様な</u> 学びと <u>文化</u> を推進するまち！！
次世代WS	-
高校生WS	・ <u>スポーツ観戦</u>が出来る ・ <u>町全体が美術館</u> ・ そこにしかないものがある（例：美術館・スタジアム etc）
中学生アンケート	・ スポーツが盛んで、賑わいのある立川 ・ <u>伝統を守り</u>ながら成長していく<u>多様な街</u> 立川 ・ <u>文化と暮らしの融合都市</u> 立川

【地域福祉】分野

○重層的支援 ○支え合いの地域づくり ○介護予防 ○フレイル予防 ○認知症対策
 ○人にやさしく ○何でも相談できる ○相互理解 ○多様性の時代 ○単身世帯の外国人
 ○高齢者の活躍の場 ○単身世帯の高齢者 ○年齢に捉われず多様性を受け入れる
 ○地域とつながり ○共に暮らす・共に助け合う ○誰もとりのこさない ○おたがいさま
 ○助け合う ○地域が支える ○誰でも誰かとつながれる ○どんな年代の人も
 ○助け合いの輪 ○みんなが支え合い

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・ <u>重層的支援体制</u>のさらなる整備 ・ 地域福祉計画の着実な推進 ・ <u>支え合いの地域づくり</u> ・ 高齢化の進展による、<u>介護予防・フレイル予防、認知症への対策</u> ・ <u>生活困窮者等への自立支援</u>の取組

<審議会発言内容>

政策に関する意見
② <u>人にやさしく</u>ということをみんな言っていた。<田所委員> ② 高齢社会への不安について、年齢が高くなるにつれて多くなっていた。<福永委員> ③ 感想ふせんに「子育ての悩みなどを相談したり、互いに協力したりできる仕組みが重要だと感じました。」とあるが、不安解消に向けて<u>何でも相談できる</u>ことは、福祉・保健の分野でも重要。<宮本委員> ③ 感想ふせんに「相互理解を地道に促すことは重要だと思います。」とあるが、<u>相互理解</u>を深めることは、<u>多様性の時代</u>ではとても重要。生きづらさを感じる人も立川に住んでよかったと思ってもらえるような社会にすることが大切。<宮本委員> ③ A班の「福祉・保健」に「年齢・国籍に捉われず」とあるが、立川市の外国人は確実に増えていて、孤立しがちな<u>単身世帯の外国人</u>も増えている。また、外国人も高齢化しているので、子育て世代から高齢者まで様々な人がいることを前提に目配せをしていくことが大切。<篠原委員> ③ 各班とも、高齢者・子ども・障害者等への支援があげられている。<片岡委員>

施策に関する意見
-

事務事業に関する意見
② <u>高齢者の活躍の場</u>がない。低賃金でもいいから働かせてほしい。<平澤委員> ② 子育て、高齢者へのタクシーチケットなど色々な案があると思った。<片岡委員> ③ 日本全国で<u>単身世帯の高齢者</u>が増加していて、立川市でも同様の傾向であると予想

できる。G 班の提案にある「見守りサポーターの設置」は伝統的には民生委員の領域だと思うが、立川市では上手く機能しているのか、また人数はどれくらいいるのか。現行のシステムを活用するのがよいと思うが、民生委員の現状を知りたい。＜松浦副会長＞

→民生委員の活動は、近所の方と顔と顔を合わせて話をするのが大切。民生委員には守秘義務があるため、その活動はあまり表に出てこない。民生委員は 151 人ではほぼ充足している。＜田所委員＞

→全国的に民生委員のなり手不足であるが、立川市は都内の他市と比較しても充足率が高い。各地域団体から熱意のある人を紹介してもらっていることが要因。地域団体との連携は上手くいっていると思う。＜宮本委員＞

＜市民 WS など＞

市民 WS	A 班 <u>年齢・国籍に捉われず多様性を受け入れるまち</u> B 班 <u>地域とつながり育っていく。成長していくまち</u> C 班 <u>共に暮らす街・共に助け合うまち</u> D 班 <u>認めあい誰もとりのこさない町</u> E 班 安心して暮らせる思いやり思いあう <u>おたがいさま</u> の「やっぱり立川」 F 班 みんなの顔が見える・ <u>助け合う</u> G 班 支援を必要とする人を <u>地域が支える</u> ！！
次世代 WS	<u>誰でも誰かとつながれるまち</u>
高校生 WS	・近くに利用しやすい公共施設（to 子育て世代、高中小学生、高齢 etc） ・高齢者にやさしい
中学生アンケート	・誰もが誰とでも差別の無いように暮らす 立川市 ・ <u>どんな年代の人も暮らしやすい都市</u> 立川 ・年齢層関係なく <u>助け合いの輪</u> が広がる町 ・ <u>みんなが支え合い</u> 、過ごしやすい立川市

【健康・医療】分野 ※一部「地域福祉分野」の再掲あり

○介護人材の確保・育成 ○介護サービス基盤の整備 ○介護予防 ○フレイル予防
○認知症対策 ○人にやさしく ○高齢社会への不安 ○何でも相談できる ○相互理
解 ○単身世帯の外国人 ○ポストコロナの医療体制 ○新興感染症対策 ○サージキ
ャパシティの確立 ○特定検診や歯の検診 ○感染症に対する医療体制 ○緊急医療養
護所 ○年齢に捉われず多様性を受け入れる ○地域とつながり ○共に暮らす・共に
助け合う ○誰もとりのこさない ○おたがいさま ○助け合う ○地域が支える ○
誰でも誰かとつながれる ○どんな年代の人も ○助け合いの輪 ○みんなが支え合い

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・高齢化の進展による、<u>介護予防・フレイル予防、認知症への対策</u> ・<u>介護人材の確保・育成</u> ・<u>介護サービス基盤の整備</u>

<審議会発言内容>

政策に関する意見
②<u>人にやさしく</u>ということをみんな言っていた。<田所委員> ②<u>高齢社会への不安</u>について、年齢が高くなるにつれて多くなっていた。<福永委員> ③感想ふせんに「子育ての悩みなどを相談したり、互いに協力したりできる仕組みが重要だと感じました。」とあるが、不安解消に向けて<u>何でも相談できる</u>ことは、福祉・保健の分野でも重要。<宮本委員> ③感想ふせんに「相互理解を地道に促すことは重要だと思います。」とあるが、<u>相互理解</u>を深めることは、多様性の時代ではとても重要。生きづらさを感じる人も立川に住んでよかったと思ってもらえるような社会にすることが大切。<宮本委員> ③A班の「福祉・保健」に「年齢・国籍に捉われず」とあるが、立川市の外国人は確実に増えていて、孤立しがちな<u>単身世帯の外国人</u>も増えている。また、外国人も高齢化しているので、子育て世代から高齢者まで様々な人がいることを前提に目配せをしていくことが大切。<篠原委員> ③各班とも、高齢者・子ども・障害者等への支援があげられている。<片岡委員>

施策に関する意見
③G班が提案している「医療体制の強化、多摩立川保健所の機能強化と充実」について、保健所だけではなく、立川市・保健所・医師会などが連携して情報の共有を行うことが必要。<片岡委員> ③<u>ポストコロナの医療体制、新興感染症対策、サージキャパシティの確立</u>など、病院の 人・物の確保が必要である。<片岡委員> ③（追加意見）施策26「健康づくりの推進」について、次の基本事業にとりくむべき。 <片岡委員>

- ライフステージに応じた食育の取組と歯と口の健康づくりを推進します。
- 成人歯科健康診査の受診率の向上を図ります。
- 生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた取組を進めます。
- 新興感染症及び再興感染症等の大規模な流行に備えるため危機管理体制の整備を図ります。
- 医療 DX を推進し、医療機関が最新のデジタルテクノロジーを活用することで医療サービスを変革し、環境を改善を推進します。

事務事業に関する意見

- ②特定検診や歯の検診、感染症に対する医療体制のことが書かれていなかった。＜片岡委員＞
- ②防災について、災害時は市内の5つの病院の門前に緊急医療養護所を設置することを三師会でも話し合っていて、進めていかなければいけない。＜片岡委員＞

＜市民 WS など＞

市民 WS	A 班 <u>年齢・国籍に捉われず多様性を受け入れるまち</u> B 班 <u>地域とつながり</u> 育っていく。成長していくまち C 班 <u>共に暮らす街・共に助け合うまち</u> D 班 認め合い <u>誰もとりのこさない町</u> E 班 安心して暮らせる思いやり思いあう <u>おたがいさまの「やっぱり立川」</u> F 班 みんなの顔が見える・ <u>助け合う</u> G 班 支援を必要とする人を <u>地域が支える！！</u>
次世代 WS	<u>誰でも誰かとつながれるまち</u>
高校生 WS	・近くに利用しやすい公共施設（to 子育て世代、高中小学生、高齢 etc） ・高齢者にやさしい
中学生アンケート	・誰もが誰とでも差別の無いように暮らす 立川市 ・ <u>どんな年代の人も暮らしやすい都市</u> 立川 ・年齢層関係なく <u>助け合いの輪</u> が広がる町 ・ <u>みんなが支え合い</u> 、過ごしやすい立川市

【行政経営（政策推進）】分野

○民間活力 ○広域連携 ○デジタル化 ○効率的・効果的な自治体運営 ○公共施設の再編 ○デジタルデバйд対策 ○デジタルの観点 ○双方向のコミュニケーション ○データが円滑に流通できる仕組み ○立川の情報が伝わりにくい ○あの立川 ○広報・インスタ映え ○知りたい！が届く ○持続可能 ○生産性が高く効率のよい ○みんなでつくる ○最新技術 ○SDGs ○100年先でも安心して暮らせる

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・ <u>民間活力・広域連携・デジタル化</u>を含めた<u>効率的・効果的な自治体運営</u> ・ <u>公共施設の再編</u> ・ <u>デジタルデバйд対策</u>

<審議会発言内容>

政策に関する意見
-

施策に関する意見
②<u>デジタルの観点</u>だと、市民は<u>双方向のコミュニケーション</u>を求めている。市役所から情報は送られてくるが、市民からの情報も市役所に届けたいが仕組みがないという話は「なるほど」と思った。<u>データが円滑に流通できる仕組み</u>、システムがいたと思った。<篠原委員> ③行政と住民がお互いに情報提供を行うことが今後盛んになっていく。C班の政策「情報」にある「市民と行政が一緒になって情報を届ける仕組み」というところをこれから目指すとよいと思う。<篠原委員>

事務事業に関する意見
②<u>立川の情報が伝わりにくい</u>。ホームページの構成が複雑すぎる。<平澤委員> ②転入届と同時にダウンロードできる市民専用アプリの提案があった。<篠原委員> ③市の情報ツールを使いやすく改善してほしい。<平澤委員>

<市民WSなど>

市民WS	A班 活気あるふれる“<u>あの立川</u>”と言われるまち B班 <u>広報・インスタ映え</u>まちがいなし！！活気あふれる街 C班 <u>知りたい！が届く</u>まち E班 多様性が尊重され、つながりつながる<u>持続可能</u>な楽しい立川 F班 広域連携で<u>生産性が高く効率のよい</u>まち
次世代WS	<u>みんなでつくる</u> まち“立川”
高校生WS	・ 近くに利用しやすい公共施設（to子育て世代、高中小学生、高齢etc） ・ 多くの公園、充実した図書館。安価な居場所が駅の近くにほしい。

	・見える政治。身近なもの。 ・公共施設が充実している ・住民の懐にやさしい
中学生アンケート	・<u>最新技術</u>をたくさん使った未来都市 立川 ・立川から世界に 考えよう <u>SDGs</u> ・<u>100 年先でも安心して暮らせる立川市</u>

【行政経営（管理運営）】分野

○持続可能 ○生産性が高く効率のよい ○公共施設 ○100 年先でも安心して暮らせる

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
-

<審議会発言内容>

政策に関する意見
-

施策に関する意見
-

事務事業に関する意見
-

<市民WSなど>

市民WS	E 班 多様性が尊重され、つながりつながる <u>持続可能</u> な楽しい立川 F 班 広域連携で <u>生産性が高く効率のよい</u> まち
次世代WS	みんなでつくるまち“立川”
高校生WS	・近くに利用しやすい公共施設（to 子育て世代、高中小学生、高齢 etc） ・ <u>公共施設</u> が充実している
中学生アンケート	・ <u>100 年先でも安心して暮らせる</u> 立川市

【行政経営（財務）】分野

○将来負担増、市税の減少 ○地域に人が訪れ、財政基盤が豊かになる ○持続可能 ○財政基盤の持続的発展 ○100 年先でも安心して暮らせる

<第4次長期総合計画総括>

政策の課題
・ 社会保障関係経費や都市インフラ老朽化による <u>将来負担増、市税の減少</u>

<審議会発言内容>

政策に関する意見
③立川市のよいところは、自然も文化も新しい商業施設もあるところのこと。そこで多様なイベントを行うことで <u>地域に人が訪れ、財政基盤も豊かになる</u> という内容がよかった。<甲野委員>

施策に関する意見
-

事務事業に関する意見
-

<市民WSなど>

市民WS	E 班 多様性が尊重され、つながりつながる <u>持続可能な</u> 楽しい立川 G 班 <u>財政基盤の持続的発展</u> を目指すまち
次世代WS	みんなでつくるまち“立川”
高校生WS	・ 住民の懐にやさしい
中学生アンケート	・ 金持ち 立川 ・ <u>100 年先でも安心して暮らせる</u> 立川市

○全体に関する意見

政策に関する意見
③市民ワークショップは、未来の話をするのかかわらず、10 年前の政策に合わせて課題を抽出し、検討するというのが腹落ちしなかった。最終的に、第4次長期総合計画の枠組みにこだわらなくてもよいとなったので、新たな枠組みで政策を検討した。E 班の政策はすべてがつながっている。＜森林委員＞ ③「連携」「連動」「協働」という言い方が色々なところで出てくる。例えば、学校においても、家庭・地域・学校の連動と言われているが、それは少し違うと思っている。学校は一步後ろに下がって、地域にはあまり出てこない。地域にやってほしいことを学校が依頼するというスタイル。何かをしようとする、最初にネックになるのは行政。市内の各種団体の活動が、横のつながりに広がっていない。「連携」「連動」というのはキーワードであり、それを中心で行っていくべきは行政である。＜福永委員＞ ③横断的な政策や施策も必要。例えば、施策 12「持続可能な環境の保全」を産業の視点で見ると、環境と経済の課題の同時解決を図るようなビジネスの創出を市が後押しをするといったことも必要になってくるのではないかな。＜川口委員＞

施策に関する意見
③「想定していなかった社会情勢」について、どの施策も新型コロナウイルスでまとめられているが、他にもある。例えば、施策 13「ごみ減量とリサイクルの推進」では、マイクロプラスチックやナノプラスチックの問題などがある。また、施策 15「豊かな水と緑の保全」でも、公園は温暖化対策につながるのもそういったところも施策で謳っていくべき。＜甲野委員＞

事務事業に関する意見
－

○評価方法・成果指標に関する意見

③施策 2「家庭や地域の育てる力の促進」の成果指標である「安心して子どもを産み育てることができると感じている市民の割合」は感想であるが、これは成果指標として適切なのかな。＜森林委員＞ ③施策 11「多文化共生の推進」の成果指標である「外国人にとって暮らしやすいまちであると感じている市民の割合」は、外国人の市民ではなくて、日本人の市民が感じていることである。また、「外国人のための日本語教室の参加者数」の到達率が低いことから、本当に外国人にとって暮らしやすいまちとなっているのか疑問である。＜森林委員＞ ③新しく政策をつくる際に、ワークショップで市民と行政が協働することは素晴らしい取り組みであるが、その結果のフィードバックや評価についても、ガバナンスの観点から市民と行政の協働が必要ではないだろうか。＜松浦副会長＞ ③施策 34「計画的な自治体運営の推進」の成果指標である「改善や見直しの図られた事務事業割合」が低いことについて説明をいただきたい。＜宮本委員＞

→前期基本計画と比較して後期基本計画は、より厳格化したため割合が低下している。＜事務局＞

③施策 12「持続可能な環境の保全」の評価について、「施策目的（良好な地球環境・生活環境が次世代に引き継がれるまち）に、近づきつつあります。」となっているが、市の設定している目標に近づいているだけであって、地球環境がよくなっているわけではない。この表現だと、すでに達成しているのでカーボンニュートラルに取り組まなくてよいということになってしまうので、他の施策の評価も含めて、注意をして評価をした方がよい。＜甲野委員＞

③施策 32「男女平等参画社会の推進」の成果指標「男は仕事、女は家庭という固定的な考え方を持たない市民の割合」はいかにも昭和的。男性の育休取得率の方が、適切。＜森林委員＞

③（追加意見）下記の成果指標を加えてほしい。＜片岡委員＞

○施策 2「家庭や地域の育てる力の促進」

- ・乳幼児歯科健診 3 歳児のう蝕有病者率
- ・妊婦歯科健診受診率

○施策 7「学校・家庭・地域の連携による教育力の向上」

- ・12 歳児（中学校 1 年）永久歯の一人平均むし歯（う歯）経験歯数

○施策 26「健康づくりの推進」

- ・かかりつけ歯科医を持っている市民の割合
- ・かかりつけ薬局を持っている市民の割合

○施策 30「社会保険制度の安定運営」

- ・後期高齢者歯科健康診査受診率